

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年1月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200102
法人名	特定非営利活動法人 こしき風林火山
事業所名	グループホーム 多喜人
所在地	鹿児島県薩摩川内市里町里470番地 (電話) 09969-3-2127
自己評価作成日	平成27年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

薩摩半島西方、豊かな自然が残る甕島・里町。その里町の中でも有名な観光名所である武家屋敷通りに当施設がある。
地域特性上、近隣住民は昔からのなじみの方ばかりであるため、外に出れば会話が盛り上がる。また、魚や野菜等の差し入れが多く、地域の中で生活できている実感を持つことができる。そのため、利用者の施設生活での孤立感は軽減できていると思われる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは甕島里町の観光名所である武家屋敷通りに建てられた施設で、2ユニットが独立した建物となっている。港からも近く交通の便も良い。
- ・自治会に加入し防災無線が全世帯に設置されており、緊急情報や地域行事などが放送される。
- ・施設はアットホームな雰囲気、利用者はほとんどが近隣の方であり職員も地元がほとんどで顔なじみの関係者が多くコミュニケーションがしつかり取れている。
- ・地域行事への参加や施設行事への地域住民の参加など地域との交流が図られており、地域住民から野菜や魚などの差し入れも多い。
- ・外部講師を招いての定期的な勉強会を開催し、サービスの質向上、職員のレベルアップを積極的に行なっている。
- ・協力医療機関である診療所とは日頃から連携が図られ、緊急時や他科受診など医療面での安心感を与えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で最も目のつくところに掲示しており、職員会議等にて共有している。	職員全員で考えた理念で、地域密着を重要視して、いつでも地域の人に来てもらえるように努めている。理念は施設内の目につく場所に掲示し、職員会議で確認し、ケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会にも加入しており、地域行事にも可能な限り参加している。また、施設行事での踊り等の訪問もある。	自治会に加入し、地域行事のすもう大会やえびす祭り・運動会等に積極的に参加、施設行事の納涼祭等に地域住民を招待している。ボランティアの受け入れや近所住民からの差し入れなど、日常的に交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	それぞれ出来る限り提供するようにはしているが、事例は多くはない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員も殆ど地元の方であり、利用者も知っておられるため、自分の家族のように考えていただいている。</p>	<p>会議は外部評価の報告やホームの活動報告・入居者状況・ヒヤリハットの報告などを行い、駐在所職員や地域の代表などが参加して質問や助言を貰ったりして運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>薩摩川内市役所里支所が近所にあり、足を運ぶ機会が多いため、その都度必要な情報交換ができています。</p>	<p>支所担当者とは相談や報告など日常的に交流を行い、ホーム便りも持参している。行政からも問い合わせが来たり、行政主催の島内で開催される認知症などの研修会へ参加している。保護課との連携も取っている。電話やメールでの情報交換を行い協力関係が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止対策委員会を中心に、身体拘束を正しく理解し、身体拘束をおこなわないケアにつとめている。</p>	<p>委員会で指針とマニュアルを基に外部研修に参加したり、事例を出して、内部勉強会で「身体拘束をしない」をモットーに学習している。玄関は昼間は鍵をせずに開放し、職員の連携で自由な暮らしを支援している。特に言葉遣いはお互い注意し合っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止対策委員会を中心に、虐待を正しく理解し、虐待は絶対におこなわないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度を学ぶ機会は少なく、十分な理解はできていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所申込み時は原則本人、ご家族に直接来園していただき、施設見学、重要事項説明後に記入していただく。入所時に再度重要事項説明をおこなったうえで契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。その他、運営推進会議時や随時自宅訪問や電話連絡等にて確認するようにしている。	利用者からは日常生活の中で思いや希望を聴いている。家族からは、面会時等に職員の方から活動状況を細かく報告して、意見や要望を聞くよう心がけている。受診後の報告や自宅へ訪問した際に意見を聴いたり、月末に遠方の家族へは便りで報告を出す際に話をしている。玄関に意見箱も設置している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や朝礼等にて意見交換をおこなっている。	ミーティングや会議時に意見や提案を聞く機会を設け、出された意見や提案は全員で話し合い、改善に向けて運営に反映させている。管理者は必要に応じて随時、個人面談を行い意見や提案の出しやすい環境づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務に対する姿勢を評価し、賞与にて反映するようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>離島ということもあり、なかなか外部研修を受けることができないのが現状ではあるが、島内でおこなわれる研修等には出来る限り参加できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内での研修もあり、その際には同業者との交流が図れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の自宅訪問を大切にしており、コミュニケーションにより環境変化や精神的変化の緩和につとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申込みから継続的に関わり、入所前の自宅訪問や入所後の訪問、電話連絡等で情報収集につとめ、環境整備に配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込み時等、必要に応じてその他のサービスの説明も併せておこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活リズムが職員の都合で左右されないように注意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族への状況報告は随時おこなっている。遠方在住の場合は、毎月文書による報告や電話連絡等おこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>私物の買い物や理美容等、馴染みの場所でおこなえるよう、可能な限り対応している。</p>	<p>買い物やドライブを兼ねての外出や馴染みの美容室利用、電話の取次ぎや手紙・年賀状作成の手伝いなど関係継続への支援を行っている。家族との墓参り等の外出・外泊や日常的に面会も多い。知り合いや親戚の面会もある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者が自室に閉じこもりきりにならないよう、茶話会やレクリエーション等交流の機会を多く設けるよう配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後の状態確認、面会等は随時おこなっている。また、ご家族との関係も継続するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日のコミュニケーションの中で、本人の希望や意向を確認しながら、利用者本位につとめている。	管理者が入居前に直接自宅に訪問して聞き取りしたアセスメントを参考に、利用者の日常会話や表情などから意向を把握し職員全員で共有している。利用者が眠れない時等に、職員と話しをしたことなど、必要な会話を申し送りノートに記録して本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前訪問を大切にしており、入所までの関わりを通し、環境整備に反映するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握・理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や各委員会活動、サービス担当者会議等において検討している。	本人や家族から思いを聴き主治医の意見等も踏まえ職員で話し合い介護計画を作成している。毎月、モニタリングを実施し、個別計画、申し送り、職員会議などから情報収集している。見直しは状態変化がないときは1年間にしているが、必要に応じて介護計画の見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成し、情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者本位の立場となり、利用者の意向が出来る限り反映できるよう配慮している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>当地域お最大の強みである地域とのつながりを大切に、地域行事への参加などおこなっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>原則、入所前のかかりつけ医を継続し、往診等対応していただいている。受診も施設対応している。かかりつけ医の変更希望も対応している。</p>	<p>全員が入居前からのかかりつけ医で、受診を支援している。2週間に1回の往診で主治医との連携が図られている。他科受診については職員が対応し適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日吊の関わりの中にとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在、介護職員が不在している。そのため、かかりつけ医療機関との連携を強化し、対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院となると、その殆どが本土医療機関への入院となる。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会等を通し、スムーズな退院、再入所に配慮している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者本人やご家族の意向を十分に確認するよう、つとめている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針やマニュアルがあり、入居時に説明し、意向を確認している。段階ごとに家族と話し合いをしている。ターミナルの事例がある。主治医の協力は得られているが現在、職員の看護師がいないのでターミナルケアは困難である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアル等により、慌てることなく適切に対応できるよう、職員会議等で随時確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練をはじめ、町全体でおこなわれる津波避難訓練等にも可能な限り参加している。</p>	<p>年2回、昼夜想定での避難訓練を災害対策のマニュアルを基に実施している。緊急自動通報装置や連絡網・スプリンクラーを設置し、地域協力員として2名の方に依頼している。定期的に器具の点検や災害グッズ・災害時の食糧等の備蓄も準備している。津波・原発事故については市が定期的実施し参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	地域特性上、職員と利用者・ご家族が昔からの知り合いという場合が多い。そのことが利用者・ご家族と馴れあいになってしまう場合があるため、随時確認している。	管理者は地域特性上、馴れ合いになる事を一番心配し職員会議や勉強会を通して常日頃から声かけや対応について注意している。人格の尊重とプライバシーの確保について周知徹底を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や意向を確実に把握できるようなコミュニケーションに配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを最大限に守るようにしているものの、職員の都合でリズムが乱れることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定が困難な利用者については、職員が確認しながらおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活の中で最も楽しみの1つである食事。その食事を最大限に楽しんでもらえるよう、地元の食材を多く使用し、好き嫌いを把握し、家庭的な食事を提供するようにしている。	専門の調理師が旬の野菜や新鮮な魚を食材にした家庭的な食事を提供している。利用者はテーブル拭きや片付け等を職員と一緒にこなしている。行事食や花見弁当・出前を取ったりして食事を最大限に楽しんでもらえるよう支援している。口腔ケアにも力を入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録簿を作成し、食事・水分摂取量を確実に記録・共有している。医療機関やご家族への報告等にも活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者毎食後の口腔ケアを実施し、記録するようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表を作成、記録することにより、利用者の排泄パターンの把握につとめ、トイレ誘導等おこなっている。	排泄パターンを把握し排泄チェック表によってパットの種類や排泄方法の検討を行いトイレでの排泄を基本に排泄の自立に向けた支援を行っている。外部講師による排泄についての勉強会を定期的実施、知識と技術の向上を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や食物繊維等の摂取、適度な運動等を通し、なるべく緩下剤を使用しないケアにつとめている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日以外にも入浴できる環境を整備し、柔軟な対応をおこなっている。	入浴は週3回、入浴剤を使用、その日の気分や希望の時間に添えるように、午前や午後に実施している。拒否のある方については声かけの工夫や時間差などタイミングを見ながらいつでも入れるように脱衣所に着替えなど準備し工夫している。失禁時には随時対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	精神面での安定やコミュニケーション等により不安軽減をはかり、なるべく安眠できるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、種類や効能を記載し、服薬チェックをおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出希望時の柔軟な対応や、日々のレクリエーションの実施、ドライブ等、気分転換への配慮をおこなっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>駐車場の一角に小さいながらも畑を作っており、野菜を栽培している。また、馴染みの店や美容室への同行、自宅訪問等可能な限り対応している。</p>	<p>日常的には畑や近隣の散歩・買い物に行ったりしている。ドライブで自宅周辺や港へ出かけたり地域行事への参加、季節の花を見に行ったりしている。家族と一緒にお盆や正月は外出して楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い程度のお金を管理している利用者が数名おられ、買い物等おこなっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等希望により柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>「匂い」を重要視し、毎日の清掃に取り組んでいる。また、季節感を感じていただけるような飾り物等配慮している。</p>	<p>共用空間はダイニングと大きなソファの置かれたゆっくりくつろげるリビングスペースに分かれ、それぞれが思い思いに過ごせる環境となっている。広くて明るく清潔感があり特有な匂いもなくすっきりしている。不快な音や温度・湿度の調整もエアコンや加湿器などで調整され快適なスペースになっている。季節の飾り付けや花などが置かれて、対面式キッチンからは匂いや音など食事の風景が身近に感じられ、居心地よく工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>スペースは広くはないが、ソファやテーブル等を設置し、憩いの場を多く提供できるように取り組んでいる。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく慣れ親しんだ家具等を置いていただくよう対応している。また、希望者には畳敷きも対応している。</p>	<p>居室にはベットやエアコン・タンスが設置されており、寝具やテレビ・家族写真・手芸品などの使い慣れた品物を持ち込んでいる。畳部屋もありそれぞれが居心地良く安心して過ごせる空間となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全てバリアフリーとなっており、移動がスムーズに安全におこなうことができる環境となっている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない